

29年度

実際に触って体験してみませんか？

難病 IT コミュニケーション 支援講座のご案内 (初級編)

障がいが進んでも様々なコミュニケーションの方法があります。

パソコン・会話補助装置・意思伝達装置・様々なスイッチなどが、まわりの人とのコミュニケーションを助け、社会とのパイプとなります。

色々な機器を体験し、難病の方の生活の支援にお役立て下さい。最新の機器もあります。



参加対象 難病の方を支援する関係者及び難病患者さん・ご家族

定員 40 名
受講料無料

日程

平成 29 年 9 月 3 日 (日)

時間

10:00 ~ 16:00

会場

西新潟中央病院 1 階附属棟 大会議室

締切

8 月 18 日 (金)

E-mail、FAX での申し込み時には氏名・職種・所属連絡先電話番号をお知らせください。

内容

裏面プログラムのとおり

申込み・お問い合わせ：新潟県難病相談支援センター

詳細・お申込みは難病相談支援センターの HP をご覧ください

月曜日～金曜日 (10 時～16 時)

協力

新潟市障がい者 IT サポートセンター
西新潟中央病院リハビリテーション科
新潟県作業療法士会
日本 ALS 協会新潟県支部

TEL

025-267-2170

FAX

025-267-2210

E-mail

niigata-nansen@nifty.com

URL

<http://www.niigata-nansen.com>

プログラム

時間	内容
9:30	受付開始
10:00	オリエンテーション
10:10	「その人らしく生きていくために」(仮)～どんな方向性で支援するか～ 講師 神経内科医師
10:50	「在宅でのコミュニケーション支援事例」(仮) 講師 山口俊光(新潟市障がい者ITサポートセンター)(新潟大学特任助教)
11:20	「公的支援制度の種類と利用上の注意」 講師 渋谷亮仁(西新潟中央病院 作業療法士)
12:00	休憩
13:00	「機器開発者からみた導入支援の技術と蓄積」(仮) 講師 松尾光晴(パナソニックエイジフリー株式会社)
14:00	機器体験コーナー コーディネーター 山口俊光 他 ・視線入力装置 ・伝の心 ・レッツチャット ・各種スイッチ 他
15:15	質疑応答・まとめ 障がい者が支援機器を活用できる社会にするために コミュニケーション支援の実情について地域の状況や情報交換 ファシリテーター 林豊彦(新潟市障がい者ITサポートセンター長、 新潟大学工学部・福祉人間工学科 教授)
16:00	閉会

西新潟中央病院



交通のご案内

自動車

北陸道 新潟西 IC 黒埼 IC より 15 分

電車

JR 越後線「小針駅」下車 徒歩 15 分
タクシー 3 分

バス

- A 有明線(新潟万代口 8 番より始発)
有明經由信楽園病院、グリーン団地前、内野行き
⇒西新潟中央病院前下車 徒歩 2 分
- B 西小針線(新潟駅万代口 7 番より始発)
西小針經由 信楽園病院 新潟大学、内野行き
⇒小針十字路下車 徒歩 10 分

H29 年度 難病 IT コミュニケーション支援講座【初級編】

参加申込書

ふりがな		
氏 名		
住 所		
所属・職種		
連絡先 一つ	電話番号	
	mail アドレス	
備 考		講義に入れてもらいたいこと、疑問などありましたらご記入ください

新潟県難病相談支援センター

〒950-2085

新潟市西区真砂 1 丁目 14 番地 1 号

独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院内

T E L 025-267-2170

F A X 025-267-2210

E-Mail niigata-nansen@nifty.com

U R L <http://www.niigata-nansen.com/>